

第8回「商店街と大学の盆踊りの違いとは」

巢鴨地蔵通り商店街理事、企画統括部、コバヤシ傘店 小林哲さん

鴨台盆踊りの印象や良い点を聞いてみました！

大正大学と大正大学の学生が、地域の方と連携して活動をするために必要なことは何かを探る連載「**おうだい3meets**」。第8回は、巢鴨地蔵通り商店街理事、企画統括部、そしてコバヤシ傘店を営んでいる小林哲さんに、鴨台盆踊りの良い点、また集客方法のコツなどアドバイスをいただきました。

お話しいただいた人



小林哲さん

巢鴨地蔵通り商店街理事、企画統括部、そしてコバヤシ傘店を営んでいる。趣味は日帰り旅行。一人で気軽に行くのが楽しめるコツ。

インタビュアー



相良隼斗

人間学部人間環境学科3年。鴨台盆踊り広報班担当。

趣味は高校野球観戦。

1. コロナ禍の影響



本日インタビューをさせていただく相良隼斗と申します。巢鴨商店街ではどのような役割で活動をされていますか？



巢鴨地蔵通り商店街の企画統括部を担当しています。抽選会の企画や売出しイベントの企画などを行っています。現在はプレミアム付き商品券の事業を行っています。



イベントを開催する上でコロナ禍の影響などはありましたか？



そうですね。人が集まるとはいけなかったのでイベントは基本的にすべて中止。売出し等も応募式の抽選会にしたりしました。本当は集まれるイベントを打ちたいですけどね。



そうですね。たくさんの人と集まってやるのがイベントの醍醐味ですもんね。



プレミアム商品券の販売も、先着順にすると密になってしまうので、応募式にしたり、今年初めてネットでも申し込めるようにしました。手間はかかるのですが、行列ができないように配慮して行っています。



たくさんの方が集まらないように様々な工夫をされているんですね。



小林さん

はい、そうですね。



相良

小林さんのことは宮崎先生からご紹介していただいたのですが、どのようなつながりがあるのですか？



小林さん

商店街に「座・ガモール」ができる前に、巣鴨の商店街と大学で連携し、巣鴨の街が賑わう何かできないか？ となった時に、宮崎先生にご相談したのがきっかけです。その時は地域の物産を商店街で売ったりできないか？ など色々なお話をしました。



相良

なるほど！ それは、今も続いているのですか？



小林さん

今は、コロナ禍の影響もあってそんなにできていないですね。あとは、コロナの前は、夜、お酒の席で偶然会って、その時に商店街の話とかをしましたね（笑）



相良

すごい偶然ですね(笑) 巣鴨近辺の方は皆さん仲がいいのですね。



プレミアム付き商品券の写真

2. 商店街の盆踊りと大学の盆踊り



巣鴨と鴨台盆踊りの関わりについて教えてください。



2018年に商店街の盆踊りは35回目を迎えたのですが、2019年は会場が使えなくなってしまいました。それで、大正大学に手伝えることはありませんか？ ということで、鼓友さんや踊りの会が参加していたのですが、2019年は会場ボランティアなどで関わりました。



そのようなきっかけがあったんですね。



商店街の方たちは、直接お手伝いできないので、周辺の警備などをやっていた。あと、今年は巣鴨商店街の盆踊りは中止が決定しているのですが、来年は再開できればよいと思います！



そうなんです！
商店街の盆踊りは何日間開催されているんですか？



毎年7月28日から8月1日までの5日間、18時から21時の間に開催にしています。東京中でも結構盆踊りはやっていますが、5日間やっているところはなかなかありませんね。



すごいですね！ 5日間もやっているのですね！



そうなんです。有名な踊り手の方や、地方から踊り好きな方なんかも参加してくれていますよ。



大正大学の鴨台盆踊りの印象について教えてくださいませんか？



小林さん

2019年にお手伝いさせていただいたときに、だれもが入ってきやすい雰囲気を感じました。商店街の盆踊りは踊りがうまい方がたくさんいて、入りづらい雰囲気があったのですが、鴨台盆踊りはそれがなくて、とてもいいと思います。学生の皆さんも、入ってください！なんて声掛けをしているのがいいですね。



相良

皆さんと一つになって踊れるのはいいですね。



小林さん

それに会場も広いですし、私もやってみたいって思えるような盆踊りだと思います。



相良

ありがとうございます。定番の曲はもちろん、鴨台盆踊りはアップテンポな曲も多く使っているのですが、それについてどのように思いますか？



小林さん

アップテンポな曲もあれば、楽しくて参加しやすいと思います。



相良

私も、アップテンポな曲のほうが聞きなじみがあって踊りやすかったです。商店街の盆踊りの集客はどのように行っているのですか？



実は特別なことはおこなっていないんです。ポスターや看板を作ったり、お店などに貼ってもらったりなんかはやっていますけど。毎年盆踊りの時期になると関係者や、地元の方なんかは来てくれますよ。



なるほど。世代で引き継がれているという印象があります。



そうですね。関係者や地元の方が来てくれば、そのお子さんやお孫さんなどが来てくれます。あとは、近くの仰高小学校の小学生も来てくれますよ。



お年寄りから、子どもまでの幅広い世代に来てもらえるような盆踊りを企画することが一つポイントのように感じました。本日はとても勉強になりました。お忙しい中ありがとうございました！



インタビューの様子

今回の記事を作成していて、様々な世代に来ていただけるような盆踊りを企画することが最も重要だと感じました。昔から毎年来て下さるお年寄りの常連さんがいらっしゃれば、その方のお子さんやお孫さんにも来てもらうことができるかもしれません。そう言った方々に愛されるような盆踊りを私たちは作っていかねばいけないと思いました。また、商店街の方々に鴨台盆踊りのお手伝いをしていただいたように、もし来年に商店街の盆踊りが復活したら、大正大学の学生がお手伝いさせていたいただきたいと思いました。

記事 人間学部人間環境学科3年 相良隼斗
お話を聞いた日 2021年7月10日